

## 野洲市民病院整備事業の経緯とスキーム

### 野洲病院から新病院整備構想の提案（2010 構想）

新しい土地、建物、機器を整えば、市への債務返済と持続可能な医療提供が可能

理由：建物、機器の未耐震化と老朽化が限界に達している



民間病院への新規施設・設備提供は制度上不可能

ただし、市内に中核医療機能は必要（有り方検討結果）



駅前土地であれば市立病院経営は可能（可能性検討結果）



市が責任をもって中核医療機能を確保（基本方針）



市が野洲病院の実績と資源を活かして新病院を整備する  
新病院整備までの間、野洲病院は経営改善と債務解消に努める  
その間野洲市は財政支援を継続する

基本前提条件



市は 2021 年新病院開院を前提に 2019 年 7 月に野洲病院の施設及び事業を包括的に承継し  
市立病院を運営する（市が関係する債権債務を含む。職員は除く。）



新病院整備事業着手

実施設計 職員採用 システム設計等を進める

現在地